

# インフルエンザと予防接種 説明書

## 1. インフルエンザとは

インフルエンザは空気中に拡散されたウイルスによって感染します。感染予防のため、人混みはなるべく避け、規則正しい生活を心がけましょう。また、空気が乾燥するとウイルスも蔓延しやすいため、空気の入れ替えや加湿器などで部屋の乾燥を防ぐことも効果的です。外出時のマスクや、帰宅時のうがい・手洗いは、普通のかぜの予防と併せてお勧めします。

## 2. インフルエンザ予防接種の有効性

- インフルエンザ予防接種の有効性は世界的にも認められています。
- 我が国においても発病防止や特に重症化防止に有効であることが確認されています。

## 3. インフルエンザ予防接種の副反応

- 注射の跡が腫れたり、発熱・頭痛・だるさなどが見られる場合がありますが、通常2～3日で治ります。
- 接種後2週間以内に発熱・頭痛・けいれん・運動障害・意識障害が現れる等の報告があります。
- 非常に稀ですが、ショックやじんましん、呼吸困難などが現れることがあります。

## 4. 予防接種を受ける前の一般的な注意事項

- 疑問点等は、接種前に担当医師に質問し、十分に説明を受け理解した上で接種しましょう。
- 予診票は接種する医師にとって、予防接種の可否を決める大切な情報です。基本的には、接種を受ける児の保護者が責任を持って記入し、正しい情報を接種医に伝えましょう。

## 5. 予防接種を受けることができない人

- ①明らかな発熱（通常37.5℃以上）のある人
- ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③インフルエンザ予防接種に含まれる成分により、アナフィラキシーを起こしたことがあることが明らかな人

※「アナフィラキシー」とは、通常接種後30分以内に起こるアレルギー反応のことで、発汗・顔の腫れ・じんましん・吐き気・嘔吐・息苦しさなどの症状に続き、血圧が下がっていく激しい全身反応です。

※上記①～③に該当しなくても、医師が接種不相当と判断した時は接種できません。

## 6. 予防接種を受けるに際して、担当医師とよく相談しなくてはならない人

- ①心臓病、腎臓病、肝臓病や血液その他慢性の病気で治療を受けている人
- ②過去にインフルエンザ予防接種後2日以内に、発熱・発疹・じんましん等アレルギー症状が見ら

れた人

- ③今までに、けいれんを起こしたことがある人
- ④今までに、中耳炎や肺炎などによくかかり免疫状態を検査して異常を指摘されたことがある人
- ⑤今までに、ぜん息と診断されたことがある人
- ⑥インフルエンザ予防接種の成分や、鶏卵等鶏由来のものに対しアレルギーがあると言われたことがある人

#### **7. 予防接種を受けた後の一般的な注意事項**

- 予防接種後 30 分間は急な副反応が起こることがあります。医師(医療機関)とすぐに連絡が取れるようにしておきましょう。また、副反応は 24 時間以内に現れることが多いので体調に特に注意しましょう。
- 入浴は差し支えありませんが、注射をした部位を強くこすことはやめましょう。
- 接種当日はいつも通りの生活をして構いませんが、激しい運動は避けましょう。

品川区ホームページ

インフルエンザ任意予防接種一部費用助成のお知らせ

インフルエンザと予防接種 説明書

[https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/ct/pdf/hpg000013209\\_5.pdf](https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/ct/pdf/hpg000013209_5.pdf)